

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。 **カシャ!!**  
 情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



食に関する紙芝居を楽しむ親子連れの来場者ら

### 食・歯・環境について楽しく学ぶ

#### ■食育×歯科×環境コラボイベント

ミルクィウェイスクエア（波津区）で11月27日、「食育フェア」「マキノ『歯』フェスタ」「環境フェア」が同時開催されました。

会場では、市食推協の皆さんによる調理デモや野菜当てゲーム、歯に関するクイズや寸劇、環境に関するアニメ映画の上映、花の寄せ植え体験など、さまざまな内容のブースなどが出展。また、会場を回ってスタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーも行われ、来場者は食・歯・環境について楽しみながら学びました。

### 地域の産業・団体の魅力を再発見

#### ■まきのはらマーケット2022

例年開催されていた産業フェアに代わり、地域の産業や活動団体の取り組みを発信し、活性化につなげようと、11月20日、「まきのはらマーケット2022」が相良庁舎前駐車場で開催されました。

当日は、市内の商店や企業、団体など44団体が出店し、特産品の販売や日ごろの活動紹介を行いました。会場には市内外から約2千人の来場者が訪れ、市の特産品であるミカンやお茶、相良高校生徒のオリジナルハンバーガーなど、市内の魅力を堪能しました。



小雨の中、さまざまなブースを楽しむ来場者

### 家族一丸で見事2連覇達成

#### ■ヨット全国大会2連覇の選手が市長を訪問

全日本シーホッパー級ヨット選手権大会で2連覇を達成した水野本さん（須々木区）が11月28日、杉本市長と橋本教育長を表敬訪問しました。

大会は、10月29・30日に神奈川県江ノ島ヨットハーバーで開催。全国から集結した19人の選手で競われ、水野さんは前年の初優勝に続き2年連続の優勝を成し遂げました。水野さんは「昨年の初優勝に続き優勝できて良かった。大会3連覇を目指して今後も練習に励みたい」と今後の抱負を語りました。



3連覇への抱負を語った水野さん（右から2番目）



東海大会に向け氣勢を上げる榛南FCジュニアの選手ら

### 東海大会での活躍を誓う

#### ■榛南FCジュニアの選手らが市長を訪問

榛南FCジュニアの選手らが11月21日、杉本市長を表敬訪問しました。

同チームは、各地区予選を勝ち抜いたクラブチームの強豪32チームが出場した「しんきんカップ第37回静岡県キッズU-10サッカー大会」で見事準優勝し、1月9日に名古屋市で開催される東海大会への出場権を獲得しています。キャプテンの藤岡暉真さん（住吉小4年）は「東海大会では、決勝戦の悔しさをぶつけて一戦一戦頑張りたい」と東海大会への決意を力強く語りました。



子どもへの言葉のかけ方について話す天野さん

### 子どもの心に届く言葉とは

#### ■市民のつどい

青少年の健全育成と明るい社会づくりを考える「市民のつどい」が11月12日、市史料館で開催されました。「私の主張2022」作文コンクール優秀賞受賞生徒の表彰と作文朗読、人権擁護委員による活動紹介のほか、「子どものコミュニケーション力を育もう～子育てが楽しくなる子どもの心に届くことばかけ～」をテーマに、フリーアナウンサーの天野ひかりさんが講演。参加者同士の話し合いの時間を交えながら、子どもとのコミュニケーションのルールなどを解説しました。

### 市民の力作、3年ぶりのお披露目

#### ■第17回牧之原市文化祭

3年ぶりの開催となる第17回牧之原市文化祭が11月5・6日の2日間、静波体育館や榛原文化センターなどで開催されました。

当日は、市文化協会会員をはじめ、市内の幼稚園・保育園、学校、市民などによる絵画、俳句、写真などの作品が約900点展示されました。また榛原文化センター、相良総合センターい〜らでは、茶会や手揉保存会によるお茶の手揉み実演のほか、将棋大会、おはなし会などが行われ、多くの来場者が、芸術の秋を楽しみました。



出品された作品を楽しむ来場者

### 障がいのある人もない人も一緒に体験

#### ■避難体験講座「さ〜！ぼうさい体験会！」

障がいのある人にも対応した防災対策を推進するため、相良原子力防災センター「サーボ」で11月19日、避難体験講座が開催され、障害のある人やその家族、支援者、市障害者自立支援ネットワークメンバーなど約50人が参加しました。

講座では、地震体験車による地震体験、県災害派遣福祉チーム「静岡DWA(T)」による避難所設営訓練と防災講座、非常持出品の確認、夜間避難体験などが行われ、参加者は実際に災害が起きた時の対応や課題などを一緒に考えました。



試食とプレゼンをもとに料理を審査する審査員

### 新しいふるさとの味、1からつくる

#### ■アースランチフェスティバル2022

毎年恒例となった「アースランチフェスティバル」が11月9日、市史料館で開催されました。

このイベントは、料理の考案から食材の栽培や調達、調理、プレゼンテーションに至るまで、すべて児童が中心となり、「今まで見たことも食べたこともない料理」を生み出すものです。

本年度は、市内の小学校全9校の5年生が参加し、オリジナリティあふれる料理を制作。審査員はオンラインでのプレゼンや試食をもとに、各校自慢の料理を審査しました。



協力して段ボールベッドを組み立てる参加者ら